

定体連全国大会に5選手

星槎高校初 あすから陸上競技



全国大会に出場する下口直矢監督、高橋祐也、本保健太、伏屋圭、若槻祐輔（左から）

錬（いずれも3年）が初出場する。5選手は練習の成果を発揮しようと張り切っている。

定体連の全国大会は、道内の定時制、通信制高校から出場希望を募り、申告者の各競技上位3人が選ばれる。

若槻は走り幅跳びと高跳び（いずれも道内参加1人）に出場。「予選で記録なし

に終わる選手も多いと聞く。まず記録を出せるよう

頑張る」と話す。伏屋は200㍎（持ちタイム23秒5）

と400㍎（同53秒8）に挑む。「予選突破したい。

全力で頑張る」と話す。2

人の元担任の千葉翔太教諭も広島から駆け付けるとい

い、2人は「成長した姿を見せたい」と意気込む。

本保は100㍎（同11秒66）に出場。「練習してきたことを全部出す。1位を目指す」と張り切る。高橋は100㍎（同11秒64）に

エントリ。「学校、保護者の支えがあつての出場。

仲間でありライバルの本保に負けない」と闘志を燃や

す。この4人で4×100㍎リレーにも出場する。リ

レーは水谷が補欠登録された。

選手は週2、3回、各3、

4時間、授業や練習で汗を流している。下口直矢監督

は「道内勢は近年、いい成績を残せていない。風穴を

開けたい」と話している。

（菊池宗矩）

陸上競技の全国高等学校
定時制通信制体育大会（8
日・東京）に、星槎国
際高校帯広キャンパスから
若槻（すぎ）祐輔、伏屋圭、
本保健太、高橋祐也、水谷